

規制委員会が「東海第2原発」の「設置変更申請」を許可!!

◆2018.9.26 規制委員会が審査合格を決定

9月26日原子力規制委員会は、日本原電が提示した東海第2原発・設置変更申請が、新規制基準に『適合』している旨を正式決定しました。1,200件にもものぼるパブリックコメントの多くは再稼働に反対、東海第2原発の危険性を指摘するものでした。また6回もの補正を出させるという前代未聞の審査にもかかわらず、いずれもまともに向き合わない、スケジュールありきの形ばかりの審査であることがあらためて浮き彫りになりました。

さよなら原発いばらきネットワークも事務局団体として参加している『原発いらない茨城アクション実行委員会』は、緊急抗議として、58団体連名（茨城県内55団体・県外3団体）で、原子力寄生委員会に対する抗議声明を出しました。

原子力規制委員会 委員長更田豊志殿

東海第二原発の新基準「適合」に対する抗議声明
原子力規制委員会は2018年9月26日の会議で、日本原電が提示した東海第2原発・設置変更申請が新規制基準に「適合」している旨を正式に決定しました。/私たちはこの決定に強く抗議します。
今回の東海第2原発の審査書案に対するパブリックコメントでは、科学者、技術者だけでなく、一般の国民からも極めて具体的な指摘で科学的・技術的意見が数多く寄せられました。東海第2原発の新規制基準「適合」の判断は、一般の国民からも多くの疑義や審査の欠落が指摘されたこととなります。

また、審査書案が公開された7月4日以降の2カ月半の間に日本を襲った自然災害では、パブリックコメントで国民から寄せられた懸念が現実発生しうることを示す出来事が起きています。9月4日、台風21号の被害では、関西国際空港の連絡道路橋に強風、高潮の影響により大型タンカーが衝突、9月6日、北海道胆振東部地震では未知の活断層

が動いたことにより大きな被害をもたらしました。これらは、パブリックコメントの中でも、複数の国民から、東海第2原発周辺で発生した場合の危険性が指摘されていることです。たまたま発生地が、茨城県でなく、関西や北海道であったにすぎません。

このような状況下で、東海第2原発の再稼働容認となる「審査書」をまとめてきた、原子力規制委員会の審査には明らかな欠落があります。

さらに、パブリックコメントを締め切った8月3日以降も日本原電から貴委員会へ「設置変更許可申請書」への補正書が2度にわたり提出され、受理されています。これは、東海第2原発の「審査書案」そのものの不備を証明しており、そのような「審査書」に基づき、私たち住民の生命や平穏な日常生活を侵害する「再稼働」を認めるわけにはいきません。

したがって、東海第2原発に関する審査はやり直すべきです。

2018年9月26日

抗議声明・申入団体：

原発いらない茨城アクション実行委員会

*抗議声明・賛同団体 58団体連名

原発いらない茨城アクション実行委員会/ 脱原発ネットワーク茨城/ 茨城平和擁護県民会議/ さよなら原発いばらきネットワーク/ 茨城県平和委員会/ 脱原発とうかい塾/ 原発事故からくらしを守るネットワーク/ さよなら原発ひたちなか市実行委員会/ 原電いばらき抗議アクション/ 東海第二相談会/ 臨界事故を語り継ぐ会/ 原発とまちづくり研究会/ 常総生活協同組合/ ひたちなか平和フォーラム/ 水戸平和フォーラム/ かさま平和フォーラム/ 筑西平和フォーラム/ 県西平和擁護市民の会/ 平和擁護土浦市民会議/ 反核平和原水禁鹿行会議/ 1女性会議茨城/ 反原子力茨城共同行動/ この指とまれ1/ 石岡平和の会 / 石岡地域憲法9条の会 / 新石岡

市を考える市民の会 / 「不都合な真実 2」を観る会/ 希望のたね・みと/ つくば市民放射能測定所/ 環境学習同好会/ ふくしまの子供達とつながる茨城保養の会/ 生活クラブ生協茨城地域くらぶチームさくら台/ 東海第二原発再稼働ストップ日立市民の会/ 福島応援プロジェクト茨城/ 水戸の未来を考える会/ 原発いらぬ牛久の会/ リリウムの会/ 原子力防災を考える会@茨城/ 循環型社会を考える会/ とりで生活者ネットワーク/ 「JCO 臨界事故をわすれない」9.30茨城集会実行委員会 / 安保法制に反対する筑波大学有志の会/ 未来への風いちから/ 茨城有権者の会/ 憲法を生かす会・茨城/ 脱原発・東海第二原発再稼働を考える会/ 茨城県市民連合/ 新日本婦人の会茨城県本部/ 生活クラブ生活協同組合茨城/ 原発いらぬ栃木の会/ さようなら原発あびこ/ かながわ平和憲法を守る会/ 戦争をさせない茨城県 1000 人委員会/ 社会民主党茨城県連合/ 社会民主党水戸総支部/ 日本共産党茨城県議団/ 新社会党茨城県本部/ 日本共産党茨城県委員会 (以上58団体)

審査当日の規制委員会前では、各地から集まった市民団体が、抗議の声を上げました。また、原子力市民委員会が抗議声明を発表しました。

日本原電は、パブコメ募集終了後に2回の補正書を提出しています。軽微な訂正に留まらず、審査書案に影響する事項も多々あったにも関わらず、その内容が市民に知らされないまま審査書が通ってしまったものです。東海第2原発差止訴訟団は、9/21付有志連名で、規制委員会宛に「審査のやり直しと審査書案の公表ならびにパブリックコメント実施を求める申立」を行いました（訴訟団 HP 参照）。

適合性審査については結論が出たものの、工事計画認可・20年延長申請については結論が出ていません。この合格により再稼働が決まったものではありません。周辺6市村の同意のほか、避難計画の策定などが必要とされています。先般、常陸大宮市議会でも「住民合意のない東海第2原発の再稼働に反対する意見書」が採択されました。東海第2原発の再稼働阻止・廃炉の実現のため、まだまだやることはたくさんあります。追及の手をゆるめずに、各方面から追い込んでいきましょう。

◆2018.9.1「東海第2原発再稼働ストップ！！茨城県大集会」が行われました

9月1日、水戸市にある駿優会館音楽ホールにて、「東海第2原発再稼働ストップ！！茨城県大集会」が行われました。950名定員の会場は開始10分前にはほぼ満席となり、立ち見の方や、ホールに入りきれず廊下で訴えを聞く方など、大変な盛況となりました。ご協力ありがとうございました。

福島県南相馬市の桜井勝延前市長や避難者大沼勇治さんの訴え、中島栄美浦村長やJA・畜産農業・茶業など幅広い方面から原発再稼働に反対の訴えがありました。東海第2原発を絶対に再稼働させない、参加者のみなさんの熱い思いが一つになった集会になりました。



集会後のデモには、約1000名が参加し、水戸市街を「東海第2原発再稼働反対」を訴えながら行進しました。集会の熱気そのままに、いつまでも切れない、長い長い隊列とコールに圧倒されました。

*実行委員会で集会DVDを作成しました。ご入り用の方はネットワークまでご連絡ください。



—避難計画をどうみるか—安易な「策定済」を許さないために

●東海村⇒取手市 2万3千人受け入れ不可能に ／受け入れ人数「見直す」・大井川知事

大井川・茨城県知事が、東海第二原発避難計画の受入れ市町村毎の人数見直しを言明しました。

日本共産党の上野高志県議が9月12日の本会議で、7月に実施した東海村の訓練の避難先となった取手市藤代南中学校の体育館と武道場の収容人数が「901人」とされていたことについて、トイレ、用具倉庫、ステージなどを含んだ総面積を2m²(1人当たりの面積)で割って人数を計算していた問題を取り上げ、見直しを迫りました。

さらに、江尻かな県議が、14日の防災環境産業委員会できりあげ、続いて、21日の予算特別委員会での山中たい子議員の質問に、知事が、「居住不可能な部分が避難所に含まれていた事実について14市町村に対して確認する」と約束したものです。

もともと、この収容人数は県が市町村から施設の面積を聞き、県が人数に換算したもので、取手市と同様、東海村から受け入れる守谷市の場合、居住可能有効面積を報告したために、「一人当たり2m²」は確保できています。県が面積を正確に申告させる注意を怠ったことが原因と言えます。

取手市の「23,500人受け入れ」は破たんしたと言えますが、他にも、見直しによって人数が大幅に減る市町村がでることもあり得、新たな避難先探しが必要となります。

収容人数だけでなく、駐車可能台数がきちんと把握されていない事も明らかになっています。

施設名	東海村の計画では	有効面積で見直すと	何%に減?
取手小学校体育館	620人	352人	57%
藤代小学校体育館	562人	390人	69%
藤代南中学校体育館 +武道場	901人	644人	61%

◆取手市の避難所は、「33か所、最大23,533人収容」を想定。⇒見直しによって、仮に70%に減ると、16,000人程度になってしまう。約7,500人の減。

●「廃炉」を前提にした避難計画に!

県も市町村も「再稼働しなくても、使用済核燃料があるから避難計画は必要」と言います。それ自体は否定できない事実です。東海再処理施設に残されている高レベル放射性廃液の問題もあります。

しかし、東海第2原発を再稼働する、しないで危険性はまったく異なります。再稼働しなければ、過酷事故の可能性は格段に下がり、使用済核燃料の安全な保管によってさらに下がります。

既に、96万人が安全に避難するのが無理なことは明らかとなっていますが、これを県市町村に認めさせ、「廃炉を前提とした避難計画にすべき」という声をあげていくことが必要です。

「実効性のない避難計画がない限り再稼働は認めない」と言いながら、笠間市など3市のように、「実効性はこれから高める」というコメントを付けたとしても、いったん「策定済」としてしまえば、国がそれを追認することで、再稼働の条件の一つがクリアされることになります。

もちろん、被曝が30キロ圏内に止まるかのような誤った前提で避難計画作りが進められているという大きな問題がありますが、実効性がない避難計画を前提に再稼働が進められることが最大の問題です。東海第二の再稼働が近づくにつれ、市町村に「早く作れ」という圧力が強くなると思われますが、具体的問題点を徹底的に明らかにして、安易に作らせないたたかいが必要です。(川澄 敏雄)

①政府は、「原発所在全13地域のうち、『避難計画策定完了』は柏崎刈羽など9地域。『策定中』は東海など4地域」と言っています。(2017年2月23日 衆議院予算委員会第七分科会での島津幸広議員への答弁)

半島の付け根にあり、陸路が断たれ5千人が孤立する恐れがあるという伊方原発も「策定完了」。

②国の「原子力災害対策指針」では、使用済燃料を乾式貯蔵すれば、避難計画の必要範囲は5キロ圏内に狭めることが可能としています。

【ご案内 & 活動報告補充】

* タンカー衝突の危険性についての記事が掲載されました。

2018年9月25日付「しんぶん赤旗」に東海第2原発のタンカー衝突対策についての記事が掲載されました。

これは本年7月に、再稼働阻止全国ネット・東海第2原発再稼働反対首都圏連絡会が行った規制委員会ヒアリング、後日実施された記者会見での取材がもとになっています。市民運動が動いてわかってきたことです。分かりやすい事もあって、今後訴訟でも取り上げる事になっています。

* 国会議員との交流会

9/13、江尻かな事務所において日本共産党国会議員と茨城県内の脱原発運動に関わるメンバーが交流会を持ちました。参加した国会議員は、笠井亮議員、塩川てつや議員、岩淵友議員、藤野保史議員、そして梅村さえ子前衆議院議員です。

さよなら原発いばらきネットワークからも4名が参加し、茨城県内における脱原発運動の経緯や現状、東海第2原発のおかれた状況、国会議員に求める活動など、ざっくばらんに、また率直な意見をお話してきました。

国会議員団からは、これまで共産党国会議員団として行った東海第2原発にかかる活動の報告、首都圏にある唯一の原発を再稼働させないために今後力を尽くしていく旨、各々お話をされました。国会議員団は当日東海村・水戸市・那珂市首長との懇談を、翌日は東海再処理施設視察などを行いました。

【ご案内】

★さよなら原発いばらきNW 拡大会議
東海第2をめぐり情勢報告、活動提起など討議、運営委員・会員さん以外も参加可能です。
☆12月15日(土)13:30~16:00
・中央ビル会議室B

★憲法カフェ@いばらき
☆10月27日(土)14:30~
・ワークプラザ勝田文化教養室1 ・参加費無料
・主催:憲法学ぼうプロジェクト@いばらき

★金曜抗議行動にご参加ください!
☆毎金曜 18:00~19:30・県開発公社ビル西側
・主催:原電いばらき抗議アクション



11月に運転40年を迎える東海第2原発・日本原子力発電(原電)東海第2原発(茨城県東海村)について、原子規制委員会は25日にも新規規制基準に「合格」したとの審査を決定しようとしている。ところが、台風10号などの災害から、改めて原発の重大課題が浮き上がっている。(松尾隆)

台風10号は西日本から、高潮と連動して東海第2原発の海側に約1キロ、たまたまは橋本(茨城)のタンカーが衝突し、うりよに衝突し、道路

あす規制委「合格」か

タンカー衝突対策なし

取水口壊れ炉心溶融の恐れ



太平洋沿岸に面した日本原電の東海第2原発
＝茨城県東海村(本紙チャーター機から)

路橋を壊しました。東海第2原発は、東海村の北側にあり、東海村の中心部から約5キロ離れたところにあります。東海第2原発の取水口は、東海村の北側にあり、東海村の中心部から約5キロ離れたところにあります。東海第2原発の取水口は、東海村の北側にあり、東海村の中心部から約5キロ離れたところにあります。

東海第2原発の取水口は、東海村の北側にあり、東海村の中心部から約5キロ離れたところにあります。東海第2原発の取水口は、東海村の北側にあり、東海村の中心部から約5キロ離れたところにあります。

東海第2原発の取水口は、東海村の北側にあり、東海村の中心部から約5キロ離れたところにあります。東海第2原発の取水口は、東海村の北側にあり、東海村の中心部から約5キロ離れたところにあります。

★ドキュメンタリー映画『福島は語る』上映会
☆10月31日(水)10:00~上映開始
・ひたちなか市文化会館小ホール
・入場料 500円(学生無料)
・連絡先 090-5410-1336(佐藤)

★さよなら原発栃木アクション
・11月11日(日)
12:20~プレコンサート 13:00~開始
お話:おしどりマコケンさん、いわむらかずおさん
13:45~パレード
▽東海第2再稼働反対集会です。
茨城からもぜひ参加をお願いします!!

発行: さよなら原発いばらきネットワーク
東茨城郡茨城町谷田部895
TEL029-219-1031/FAX029-219-1032
HP; https://t2hairo.jimdo.com/
TWITTER; t2hairo
FACEBOOK; さよなら原発いばらき